

アメリカ合衆国大統領  
ドナルド・トランプ殿

## 抗議文

2019年6月4日  
核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）  
代表世話人会

貴国政府が西部ネバダ州の核実験場で2019年2月13日、核爆発を伴わない未臨界核実験を行っていたことが報道されました。

トランプ政権では、2017年12月に次いで、2度目の実験となります。

私たち核戦争に反対する医師の会は、唯一の戦争被爆国である日本の医師・歯科医師として、また、命と健康を守る医師・歯科医師として、今回も強く抗議するものです。

貴国政府は、昨年2月に発表した「核態勢見直し（NPR）」において、これまでの政権がすすめてきた核軍縮方針を大きく転換させ、核兵器の近代化と新型核兵器・小型核兵器の開発など、これまで以上に核兵器の使用に踏み込む姿勢を露わにしています。

今回の核実験は、来年5月のNPT再検討会議に向けた準備会議が開かれ、核兵器禁止条約を始めとして世界が核兵器廃絶への真剣な努力がなされている中で行われたものであり、こうした努力に水を差すものといわざるを得ません。

また、こうした実験は、さらなる核拡散や核軍備拡張競争を招くものです。

また、貴国は、北朝鮮やイランに対して核実験の中止と核兵器の放棄を強く求めています。その一方で、未臨界とはいえ核実験を行い、核兵器の近代化と核兵器の増強を行うことは決して許されるものではありません。

私たちは、貴国に対して、未臨界を含む、あらゆる核実験を行わないことを再度要求するとともに、貴国が、すみやかに包括的核実験禁止条約に批准することを強く求めます。

最後に、私たちは、核兵器廃絶を願う世界の人々と連帯し、一日も早い核兵器禁止条約の発効に向けた取り組みをすすめていくことを表明します。